

＜ハラスメントに関するセルフチェックリスト＞

次の文章の中であなたが正しいと思うものには「○」を、誤りだと思うものには「×」を、迷ったものには「△」をつけてください。

- 1[] セクシュアル・ハラスメントは異性間で起きるものだ。
- 2[] 指導や評価において、学生や部下が嫌な思いをすることがあって当然だ。
- 3[] 異性の容姿を褒めるのはハラスメントではない。
- 4[] 指導や評価で嫌な思いをしたとき、アカデミック・ハラスメントやパワーハラスメントだと相手を責めるのは当然だ。
- 5[] ハラスメントと色々言われると何も言えないようになってしまう。
- 6[] 相手の目の前でため息をついたり、ひそひそ話をする程度はハラスメントにならない。
- 7[] 教職員が学生や部下に対して、夜間にメールや SNS で頻繁に連絡してくるのはハラスメントになる
- 8[] 職場の会議などで、自分への反対意見を言う事は心外だ。
- 9[] 部下である職員は大人だから、上司と飲食を共にしたくなければ、断るであろう。誘うと OK するのは、好意を持っているからである。

＜ハラスメントに関するセルフチェックリスト・解説＞

1[×] セクシュアル・ハラスメントは異性間で起きるものだ。

⇒ 同性間でも起こりえますし、女性から男性へのセクハラの場合も少なくありません。

2[×] 指導や評価において、学生や部下が嫌な思いをすることがあって当然だ。

⇒ 「当然だ」「当たり前」と言った思い込みはハラスメントのリスクが高い考え方です。指導や評価を行うことは必要ですが、相手に応じてその手法を考えてみましょう。

3[×] 異性の容姿を褒めるのはハラスメントではない。

⇒ 褒められることで性的なニュアンスを感じたり、嫌だと感じる人もいます。特に力関係があるときには、嫌な思いを持ちやすいものです。また、周りで聞いている人にとって、ハラスメントになり得ることも忘れずに…。

4[×] 指導や評価で嫌な思いをしたとき、アカデミック・ハラスメントやパワー・ハラスメントだと相手責めるのは当然だ。

⇒ 自分にとって不利益だと思ったら、それがすべてアカハラやパワハラになるということではありません。指導や評価をされた側も自分自身を振り返る姿勢も大切です。

5[×] ハラスメントと色々言われると何も言えないようになってしまう。

⇒ ハラスメントを恐れるのではなく、積極的にコミュニケーションをとっていきましょう。誤解があれば、話し合い、フォローをすることも必要です。

6[×] 相手の目の前でため息をついたり、ひそひそ話をする程度はハラスメントにならない。

⇒ 自分がされて嫌な行動は相手も嫌だ、という気持ちを大切にしましょう。

7[○] 教職員が学生や部下に対して、夜間にメールやSNSで頻繁に連絡してくるのはハラスメントになる。

⇒ 自分にとっては夜がオンタイムでも、相手にとっては休息の時間です。頻繁に連絡をされると心が休まらないのではないのでは…。その連絡、明日の朝では間に合いませんか？

8[×] 職場の会議などで、自分への反対意見を言う事は心外だ。

⇒ 職場（研究室や事務室）内での自分の優位性を濫用し、正当な理由なく相手に意見を言わせない状況では職場内の円滑なコミュニケーションができなくなる場合があります。お互いのいろいろな意見を尊重し、職場（研究室や事務室）の活性化を図りましょう。

9[×] 部下である職員は大人だから、上司と飲食を共にしたくなければ、断るであろう。誘うと OK するのは、好意を持っているからである。

⇒ 部下である職員と仕事を指示、指導する上司との間には立場の差があるため、はっきり断れない可能性があります。「断らない」ことは必ずしも「承諾」を意味しません。